

Raymond Rohauer and Shibata Organization Inc. Present
原作ウィリアム・ピッティンジャー (The Great Locomotive Chase)

脚本・監督バスター・キートン

撮影J・デロー・ジェニングス / パート・ヘインズ
新録音後ジョー・シラウーサー / ルー・フラトゥーロ

バスター・キートン

マリオン・マック

グレン・キャンベダー

ジム・ファーマー

フレデリック・ブルーム

SL (特撮号) (テキサス号) (コロムビア号)

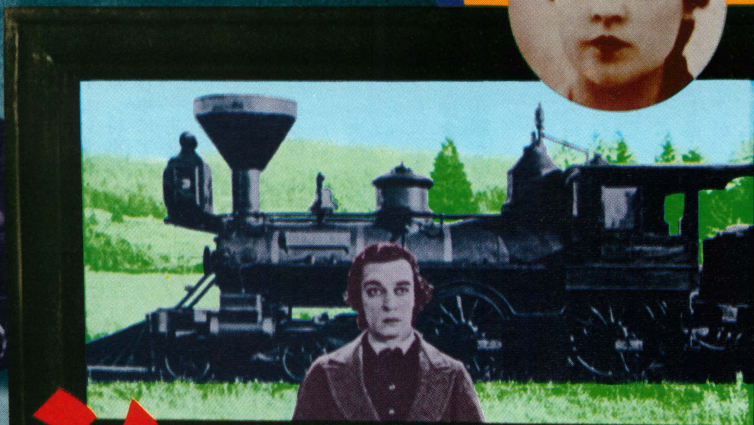
バスター・キートン・プロダクション製作

アメリカ映画

THE GENERAL

ギャグが…SLが…
全篇を爆走する!

世界の映画人が絶賛!
チャップリンも脱帽!
新版で甦る史上最高の
超スペクタクル・コメディ!

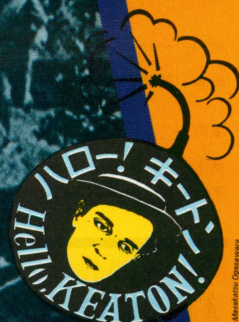


〈ハロー・キートン〉第6弾
レイモンド・ローハワー・復権
フランス映画社提供

キートンの 大列車追跡

(再映)

強盗騒動
THE GOAT



Designer: Masahito Ogasawara

これが映画だ！喜劇だ！キートン決定版だ！！

●「キートンの大列車追跡」、GO！！

キートンの映画を一本でもみた若者はきつと病みつきになつてしまふ。時代をこえて、不滅の魅力を持つ、バスター・キートン。その代表作ともいわれるのはこれ、「キートンの大列車追跡」なのである。

……チャップリンをビートルズに例えるなら、キートンはさしずめローリング・ストーンズ。ロックの本質であるアナキーな感覚という点で断然ストーンズというなら、笑いの本質ともいふべきナンセンスなギャグ感覚という点では、これはもう、キートンがピカイチ。

ヤング・コミック誌

「キートンの大列車追跡」——この映画の中にいくつギャグがあるか数えてごらんさない。数えきれないかも知れませんよ！

淀川長治氏

SLがほんもの、貨車がほんもの、人間がほんもの。ミニチュアとかスタントマンとかを考えない、このほんものの魅力がすばらしい。それにしても、キートンはよほどSLにくわしいにちがいない。SLのあらゆる部分、あらゆる機能をギャグに使っている。

阿川弘之氏

……キートン喜劇のなかでもズバ抜けて面白い一篇である。キートンの長尺喜劇は前半が比較的確のんびりした展開で後半にアクションが爆発し面白さが盛りあがるという構成が多いが、この作品は最初からギャグも豊富で全編スキ間なしに面白さが詰まっている。……ここから追う者と追われる者が逆になるが、このアクションが展開されることになるが、この生きたか死ぬかの騒動のうちに家庭の主婦気分て機関車の床をホーキでお掃除するといったアナベルにからむギャグもそこぶる優秀。さらに途中からは敵側がもう一台「ヘコロンビア号」という機関車を動員するのだからSLファンにとってもこんな御馳走はめつたにないだろう……。

双葉十三郎氏

●最新版完成——「キートンの大列車追跡」

世界映画史上、喜劇の一、二を争うのは、なんといっても「キートンの大列車追跡」とチャップリンの「黄金狂時代」その「大列車追跡」が、「ヘパロー/キートン」シリーズ再開の第一作として、ついに、しかも、ニュー・サウンド、ニュー・プリント版で、はなばなしく登場する。みがきにみがきぬかれたキートンのギャグ爆弾が連続炸裂。そして舞台は南北戦争——スケール大きく、ほんもののSL3台が全篇を爆走するスペクタクル巨篇である。

●南北戦争を背景に——

キートン扮する主人公の名はジョニー・グレイ。南軍一の名機関士で、自分が運転するSL「将軍号」と憧れの恋人アナベルと、どちらが大事かときかれたら答に困るほど、どちらも大事でたまらない青年。

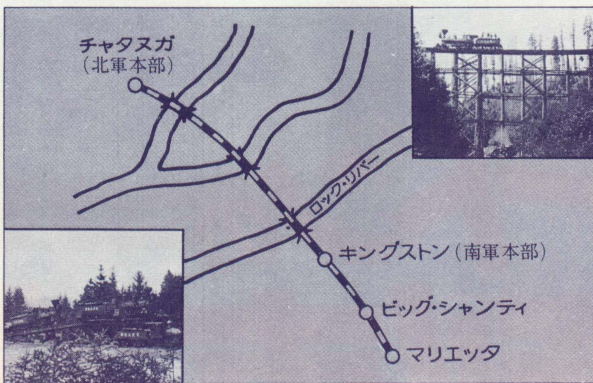
その愛車「将軍号」を、しかも、貨車にアナベルを閉じこめて、北軍のスパイ隊が奪い去つたために、ジョニーの必死の追跡がはじまる。北軍スパイ隊が大軍の追跡と信する程必死に、(実はたった一人で)、大砲を味方に、(実は大砲から逃げながら)、ついに北軍本部に潜入して……。

●往復の追跡合戦で、ギャグも往復に炸裂！

北軍スパイ隊が「将軍号」を奪うのは、ビッグ・シャンティ(地図参照)。キートンはこれをキングストンから「テキサス号」で追ひ、チャタヌガまで大追跡。チャタヌガから「将軍号」とアナベルを救出して、今夜はロック・リバーにむけて大逃亡。北軍は「テキサス号」と「ヘコロンビア号」でこれを追う。前半での逃げる北軍スパイ隊と追うキートンの間に展開されるスリルとギャグが、後半で、逃げるキートンと追う北軍の間で二倍になって炸裂する面白さ。

●チャップリンも脱帽！

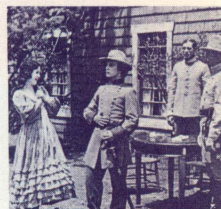
製作費百万ドルをかけたこの映画の見所は、オレゴン州の州兵数万人を動員した戦場シーンや、撮影中の6ヵ月間、全出演者と全スタッフの家族をロケーションの場所に呼びよせて、合宿スタイルでねりあげたギャグのひとつひとつにこめられている。



この映画こそ、キートンが生涯の最高作にしようと思った思いが、いかに実現された傑作。世界の映画史上の傑作ベストテンを、世界中の映画人からのアンケートの集計で10年ごとに発表している「サイト・アンド・サウンド」誌ベストテンの1972年度版では、チャップリンの「黄金狂時代」をしのいで、喜劇映画では唯一、つまり喜劇映画の世界映画史上のベストワン作品として、「大列車追跡」が選ばれているのも、当然といえる。あまりにも当然……。

●ほんもののSLが追跡／衝突／炎上！

この映画の共演者(？)、SL「将軍号」、SL「テキサス号」、SL「ヘコロンビア号」の美ぶりは、ほんものならではのもの。ロック・リバーで炎とともに墜落する「テキサス号」のシーンは永遠の語り草だ。



【スタッフ】

原作……ウィリアム・ピットインジャー
〈The Great Locomotive Chase〉
脚色……アル・ポーザーバグ、チャールズ・スミス
バスター・キートン
脚本・監督……クライド・ブラックマン
撮影……J・デブロー、ジェニングズ
パート・ヘインズ
美術……フレッド・ガブリー
新版音楽……ジョー・シラクーサ、ルー・フラトゥーロ

ジョセフ・M・スケンク製作
レイモンド・ローハワー復原
フランス映画社提供／アメリカ映画
Buster Keaton
THE GENERAL

キートンの
大列車追跡



【キャスト】

ジョニー・グレイ……バスター・キートン
アナベル・リー……マリオン・マック
北軍のスパイ隊長……グレン・キャンベーター
サッチャー将軍(北軍)……ジム・ファラー
南軍の将軍……フレデリック・ブルーム
アナベルの父……チャールズ・スミス
アナベルの兄……フランク・バーンズ
北軍の将軍たち……ジョー・キートン他
徴兵官……フランク・ハグニー

有楽町・日劇地下

(201)2111

●特別鑑賞券発売中！ ¥900

(当日一般1,200円、学生1,000円のところ)

4月23日(土)ロードショー！

日劇文化

日・祝 10:30 平日 12:10 2:00 3:50 5:40 7:30